

「令和五年新年ご挨拶」

奈良県 知事 荒井 正 吾



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

奈良県中小企業団体中央会におかれましては、平素より中小企業組合の連携組織をはじめとする県内中小企業・小規模事業者の発展・活性化に取り組む団体として、本県の産業・観光・雇用の振興に多大なご貢献をいただいておりますことに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

中小企業・小規模事業者の皆様におかれましては、急激な円安、原材料やエネルギー価格の高騰、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などにより、厳しい経営環境が続いています。そのような状況を受け、本県といたしましても、制度融資による資金繰り支援や、中小企業等が新たな事業に取り組む場合に支援を行う奈良県中小企業経営力向上支援補助金、国の雇用調整助成金に県独自

の上乗せを行う奈良県雇用維持支援補助金、宿泊・旅行需要喚起策である「いまならキャンペーン」などの施策により、中小企業・小規模事業者の皆様の経営の維持・発展を目指して取り組んでいるところです。

一方で、今後の県政を展望しますと、リニア中央新幹線の全線開業が14年後に迫ってまいりました。奈良県がさらに発展するため、リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置、大規模広域防災拠点の整備、「リニア中央新幹線ー関西国際空港接続線」の具体化の3つのプロジェクトを一体的に進めてまいりたいと考えています。

また、このような県勢発展の原動力となり得るインフラ整備の波が大和野中央周辺に押し寄せていることを踏まえ、磯城郡3町と協働して「大和野中央田園都市構想」に取り組んでいます。スポーツ施設を核とした2つの「ウェルネスタウン」、また、「(仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ」をテーマとする拠点を整備するなど、住民の皆様の暮らしの向上につながる取組を進めてまいります。

さらに、県内産業の国内外への販

路拡大、研究開発支援の強化、宿泊施設の誘致による滞在型観光の促進など、県内経済基盤の底上げを図るべく様々な施策を進めています。これら地域経済活性化のプロジェクトや事業により、「もっと良くなる奈良県」を目指してまいります。

中小企業の各組合は、技術・情報・人材など、個々の企業では不足する経営資源について、共同事業を通じて相互補完を図る素晴らしい仕組みであり、コロナ禍である今こそ、その強みを発揮される時です。

本県といたしましても、地域経済の活性化及び発展と新型コロナウイルス感染症拡大防止の両立を目指し、引き続き全力で取り組んでまいりますので、奈良県中小企業団体中央会及び中小企業・小規模事業者の皆様方におかれましては、共にこの困難を乗り越えるため、今後とも奈良県政の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、奈良県中小企業団体中央会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。